



シラバス参照

タイトル「**2015年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2015年度 教養科目シラバス-2015年度サテライト科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	地域暮らしの安全学D		
担当教員	村田 和子 山本 朗 松浦 善満 米澤 好史 豊田 充崇 古井 克憲		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	時間外	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 実施場所：南紀熊野サテライト（田辺市）		
科目名（英語表記）	Safety Science of life and Community D		
授業の概要・ねらい	教育現場や家庭をとりまく教育空間の現状と課題を正しく知ること、地域や家庭が安全・安心の空間としていかにあるべきか、その方策についても学ぶことを目的とする。教育関係者、児童館、保育の職員や子育て支援、行政関係者の方にも受講していただきたい。		
授業計画	<p>第1回（7月11日・土曜日）「いじめ問題と学校の安全」（松浦） 子どもにとって学校が安全・安心の居場所であるためにはいかにあるべきか？。いじめ、不登校の実際事例から、地域社会に開かれた学校の在り方を考える。</p> <p>第2回（7月18日・土曜日）「子ども・おとなが育つ地域社会ー社会教育アプローチー」（村田） 親が育つ子育て、家庭教育支援、学校・家庭・地域の「連携」、地域を創る学びと住民の主体形成のシステムを考える。</p> <p>第3回（7月25日・土曜日）「こころと発達の問題の理解と心理的支援のあり方」（米澤） 生きる力とこころの教育・こころの支援について、コミュニケーション・攻撃性の問題や愛着障害と愛着の問題への支援を中心に、自己理解と人間関係支援の観点から、考えていきます。</p> <p>第4回（8月1日・土曜日）「障害児者の人権と教育・福祉」（古井） 障害児者の権利保障の観点から、現在の教育課題、地域福祉の課題について考える。</p> <p>第5回（8月8日・土曜日）「不安の時代を生きる子ども・若者への支援～精神科医の立場から～」（山本） 子ども・若者の不登校、ひきこもりと支援のあり方を、不安をキーワードとして精神科医の立場で論じます。</p> <p>第6回（8月22日・土曜日）「情報モラル／セキュリティ教育でネットトラブル・犯罪から子どもを守る」（豊田） 児童生徒らを取り巻くスマートフォンやSNS利用の実態とそこから生じる各種のトラブルや犯罪等を把握し、どういった教育が必要とされているのかを、具体的な教材や事例をもとに考えます。</p>		
到達目標	最新の教育現場での考え方、理論について理解する。		
成績評価の方法	各回での議論や授業態度、レポートなどから評価します。		
教科書	特に定めません。適宜、資料を配布します。		
参考書・参考文献	必要に応じて講義中に紹介します。		
履修上の注意・メッセージ	基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。		
履修する上で必要な事項			
受講を推奨する関連科目			
授業時間外学習についての指示	学んだ内容について、復習と自主的に学習が必要です。		

その他連絡事項



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.